



Amir Tsarfati

[2021年6月3日中東時事アップデート ゴグとマゴグにどれほど近づいているのか]

シャローム皆さん。アミール・ツアルファティです。ここ、イスラエルのガリラヤにあるオフィスのスタジオからライブです。内容が盛りだくさんのアップデートをお祈りで始める前に、一つお伝えしますと、イラン南部にある別のエネルギー施設で、新たに大爆発がありました。24時間以内に二度です。イランは、非常に、非常に混乱しています。それで足りなければ、かつてイランの大統領を務め、大統領選に再出馬する道を拒否されたアフマディネジャドが、あちらの腐敗について、非常に、非常に、非常に興味深いことをいくつか明らかにしています。もしかすると彼は、数日後には生きていないかも知れません。

このように、多くのことが起こっています。まずはお祈りして、それから、イスラエルで政権を握る新政府についてお話しします。それは何を意味するのか、そして大きな疑問「ゴグとマゴグにどれほど近いのか？」ということについて、自問自答してみようと思います。

お父様、あなたに感謝します。私たちは、自分の気持ちに頼る必要はなく、私たちが見ているものに頼る必要さえありません。私たちは、あなたが、あなたの御言葉で約束されたものに抛り頼まなければなりません。信仰は聞くことから始まることを、私たちは知っています。またそれは、目に見えないものを確信させるものでもあります。ですから、お父様、どうか私たちに勇気と力をお与えください。そして、私たちが時と季節を理解できるよう、あなたの御言葉を通して、現在起こっているすべてのものを明らかにし、そして私たちに多くの励ましと希望をお与えください。あなたに感謝し、あなたを祝福し、イスラエルの聖なる方、イエシュアの御名の下にお祈りします。アーメン。

〈イスラエル、新政権樹立における「変化」と懸念〉

さて、改めて、シャローム。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤよりライブです。昨夜の午後11時25分、まだ24時間も経っていませんが、イスラエルの野党指導者が、イスラエルの大統領に電話で告げました。

「政府樹立に成功しました。」

その提案された政府については、この後すぐにご覧いただきますが、しかし皆さん、現在イスラエルは強く、安心安全で、繁栄しているかも知れませんが、政治的には非常に不安定です。皆さんもすぐに分かります。道徳的に、急激に後退しています。これは、新しいイスラエル政府の状態を表した図です。間違いなく、皆さん、ご覧の通り、何一つ辻褃が合いません。左派は決して右派と一緒に座ることを望まず、アラブ人は決して、そのどちらかとも一緒に座りたがらず、そして、120議席の中でたったの6議席しか得られなかった男を首相に置きました。彼を首相にするのは、全く冗談のようで、合憲ですらありません。よく考えてください。それは民主的でもありません。しかし唯一、左派と右派、それから中立派、さらにはアラブ人の政党さえくっつけているのは、「ベンジャミン・ネタニヤフが気に入らない。」



イスラエル新政府の内訳

ネタニヤフに対する彼らの憎しみは、彼らの国に対する愛よりも、はるかに大きいと確信しています。なぜ、私はこんなことを言うのでしょうか？なぜなら、それらの当事者の一人一人が、他の当事者と一緒に座ることによって、独自のイデオロギーを裏切っているからです。非常に興味深いことに、彼らの支持者も、ネタニヤフが追放される限り、皆、それで構わないのです。それは、少し前にアメリカで起こった事を彷彿とさせます。現役大統領への憎しみが、愛国心よりもはるかに大きくて、誰もが変化を求めていました。そして彼らは、この政府をこう呼びました。「変化」政府。皆さん、思い出してください。この「変化」とは誰のスローガンでしたか？



「変化」をスローガンに掲げたのはこの人

これはアメリカが持っていたものです。第44代大統領は「チェンジ／変化」という切符を持って出馬し、そしてその変化は、必ずしも良いことではありませんでした。覚えていますか？あれは実際に、アメリカ史上最悪の時代の一つでした。そして今は、イスラエル国家の最も暗い章の一つだと私は信じています。今夜は、私にとって非常に辛い夜です。私は確信に満ち、強く、喜んでワクワクしているように装っていますが、でも今、私は、心の中で泣いています。なぜなら私の国は、私が認識すらできないものになりつつありますから。皆さん、言うておきますが、彼らが望むその「変化」、その「変化」が求めているのは、我が国を神に近づける「変化」ではなく、我が国をより良くするものでもありません。だから私は、私たちのあり方、私たちのふるまいについて、以前のように誇りに思うことはありません。皆さん、正直に言いますが、今後、私が提示するすべてにおいて、物事が異なってくるでしょう。事実、良いことは、こうして話

している間にも、私は、イスラエルの行動よりも、イスラエルに対する神の約束にますます頼らなければならないことでしょう。ところで、「変化」といえば、箴言24章21～22節で何と告げているか、ご覧ください。

21 わが子よ、主を、そして王を、畏れよ。変化を求める者らと関係を持つな。

なぜでしょう？

22 突然、彼らの不幸は始まる。この両者が下す災難を誰が知りえよう。

(箴言 24:21～22 新共同訳)

ですから皆さん、「変化」です。もしそれが、神の目的のためなら素晴らしいです。しかし残念ながら、言うておきますが、そうはならないでしょう。実際、この新政府がやろうとしている、新しい「変化」の簡単なリストをお見せしましょう。

- (1) マリファナの合法化
- (2) ネゲブにおける、無許可建設のアラブ人住宅の合法化

彼らは、ユダヤ人に建設させないように、ますます多くの土地を取って、どんどん建設して行きます。

- (3) 同性婚の促進
- (4) 侵害された最高裁判所が、変更または置き換えられるのを防ぐ。



イスラエル新政府がやろうとしている「変化」

ところで、言うまでもなく、グーグルを調べれば、今日、エルサレムで起こっていたことが出てきますよ。今、皆さんが読んだすべてのものに加えて、今日のエルサレムでの出来事です。それが「変化」です。もう、信じられませんが、キッパをかぶっている、正統派ユダヤ人が率いる政権が…それらの人々が何者か、皆さんもすぐに分かります。さっきの政府の図を見れば、左派と右派以外にも、中立であるはずの党は、グローバリストであり進



4議席のラームはムスリム同胞団の
イスラエル支部

歩主義です。そして皆さん、上にある4議席のラーム、これはムスリム同胞団のイスラエル支部です。間違えてはいけません。これはイスラエル国内の、イスラム運動の政党です。ムスリム同胞団は、1928年にエジプトで設立されて以来、ほとんどのアラブ諸国で、非合法化されたのです。アラブ首長国連邦、サウジアラビア、エジプト、バーレーン、オマーンで、彼らは非合法で、運営することすら許されていません。それがここでは、イスラエルのムスリム同胞団のほんの一部だけが非合法であって、ラームがある部分は、実際には合法で、彼らは非常に賢明であると言わざるを得ません。

彼らは、タキーヤと呼ばれる、非常に古いイスラムの運営法を使用しています。タキーヤとは基本的に、イスラム教徒がシャリア法の下で嘘をつくことを許可します。つまり、過半数があり、大多数が何かを言うとき、少数派として、自身の議題を促進するために、大多数に同化することが許されていて、特定の事柄について、彼に同意します。そして、時が来て、彼らが弱体化し、自分たちが十分な力を得ると、その時、行動します。イスラエルの、イスラム運動の指導者たちは気づきました。正統派ユダヤ人、宗教的なユダヤ人、ハシディズム派ユダヤ人は長年政府の一部で、彼らは本当に、イスラエルの他の部分と価値を共有していませんが、彼らがそこにいる理由は、彼らの仲間を代表し、お金と予算を得るためです。そこで彼らは言ったのです。

「よし、同じことをしよう。」「我々は、すべてに同意する。」

「彼らとともに座って、我々の仲間のために、予算として数十億シェケルを得るのだ。」

「しかし我々は、この国に献身しない。」「我々はコミットしない。」

ほら、つい先ほど、イスラエルの街で暴動があって、イスラム教の名の下に、イスラム教徒が理由もなくユダヤ人を殺しました。そして、その同じラームが、「これは正当な反乱である」と言って、それを正当化しました。想像できますか？ところで彼らは、国家的なものではなく、イスラームを強調しています。だから、世界中のイスラム教徒は誰でも、彼らの働きに参加することができます。

ですから皆さん、理解する必要があります。私は嘆き悲しみ、心の中で泣いています。私から見ると、砦が破られ、要塞が崩れたも同然です。ムスリム同胞団がイスラエル政府に足掛かりを持っているのですから。私はネヘミヤ記を思い出します。ネヘミヤ記に登場する、アモン人のトビヤを覚えているでしょうか？実際、彼はアモン人の王でした。アモン：ヨルダン川の向こうの隣人。そして基本的に、トビヤはエルサレムを再建しようとするネヘミヤの働きを邪魔しようとしてしました。なぜなら、彼の考えでは、エルサレムは私たち（イスラエル）のものではありませんから。そして、バビロン捕囚の後、もちろん彼は自分で使うために、神殿の収納庫を占領しました。そしてネヘミヤがエルサレムに戻って来た時、彼が言ったことをご覧ください。

7 エルサレムに帰り、エルヤシブがトビヤのために神殿の庭にある収納庫を流用して、そのために行った悪事を知った。

8 私は非常に憤り、

ほら、私は今、本当に憤っています。そしてネヘミヤは言います。

その祭司室からトビヤ家の器具類をすべて外に投げ出し、

9 その祭司室を清め、そこに再び神殿の祭具と穀物の捧げ物と香を納めることを命じた。

(ネヘミヤ記 13:7~9 新共同訳)

皆さん、その宗教は、私たちがエルサレムにいることを望んでいません。私たちがエルサレムに神殿を持つことを望んでいません。私たちがここ、イスラエルにいることさえ望んでいません。私たちがこの国の支配者になることを望んでいません。その彼らに足掛かりを与え、私たちの政府に何らかの力を与えるということは、愚かさ

をはるかに超えています。私たちがそれを行うなんて、信じられません。しかし、進歩派の考え方は、全く異なる思考です。だからイスラエル、もちろん、我々の経済は強く、はい、私たちには強い軍隊があります。はい、私たちには素晴らしい医療があり、そして、サイバーセキュリティ、農業、すべてが素晴らしいです。私たちは安心安全で、繁栄しています。しかし、道徳的に衰退し、政治的に弱いです。間違えてはいけません。非常に強い政治指導者がいると、人々は恐れ、人々は敬意を示し、彼らは、あなたに手を出してはいけないことを知っています。皆さんは正確に知っていますね。第46代大統領の就任以来、中東は非常に不安定になりました。なぜか？彼らは、弱さのにおいを嗅ぎつけたからです。そして今、イスラエルはこれを行うことで、弱さを発信しています。我々には、気概も何もないことを発信しているのです。私の国がグローバリズムに屈し、進歩派の思考に屈し、変化に屈するのを見るのは悲しいことです。しかも、良い変化ではなく、悪い方への変化です。そして間違いなく、私たちの周辺は、それを見ながら、彼らが移動する時が、おそらくすぐそこまで来ていることを知っています。

〈ロシアの動向〉

さて、皆さん、思い出してください。エゼキエル書 38 章と 39 章に記述された戦争、ゴグとマゴグを調べてみれば、ロシュ（英語 NKJV 訳）の大首長がいて、ロシュはこんにちのロシアです。（エゼキエル書 38:2 参照→日本語は巻末参照。）その大首長は、北から何らかの攻撃、侵略を統率して来ます。そして、ロシアは最近、非常に活発で、シリアの海岸、フメイミムと呼ばれる場所に、ロシアは空軍基地を持っており、その空軍基地で彼らが最近したことをご覧ください。右側に滑走路が見え、左側には延長滑走路が見えます。このように彼らは、実際、必死になってそれらを拡張しました。なぜでしょう？彼らには、ある特定の航空機以上のものに適した、十分な長さの滑走路が必要なのです。シリアの空で、ここ数日見られたものをご覧ください。超音速爆撃機 TU-22（ツポレフ 22）です。ご覧ください。超音速、長距離、戦略、海上爆撃機。



シリア・フメイミム空軍基地の
延長されていく滑走路



シリア上空を飛行している



駐機中の TU-22



それらが、シリアのフメイミムに上陸しました。なぜロシアは、シリアに超音速長距離爆撃機が欲しいのか？私に考えられるのはただ一つ、戦略です。皆さんが同じことを見ているかどうかは分かりませんが。

〈イランの動向〉

そして、最初に述べたように、イランは多くの問題を抱えています。イランは、エゼキエル書 38 章のペルシャです。皆さんの中には、イラムについて疑問に思っている人がいますが、イラムはイランのほんの一部です。イラムの預言は、成就しています。しかし、ペルシャ全体、イラン全体が連合に加わり、イスラエルを攻撃します。彼らは、自分たちだけではそれが出来ないことを知っていますから。彼らはすべての機器を持っていて、彼らの

政府は腐っています。かつて大統領を務めていた、マフムード・アフマディネジャドは、大統領選に再び立候補しようとして、再出馬の道を拒否され、彼は立候補を申し込むことさえできませんでした。その彼が言いました。

「私はこれから、我々のセキュリティーサービス内の恐ろしい腐敗の秘密を明らかにします。」

と。彼は基本的に、そのためにイスラエルが深く潜入することができたのだと言います。

「なぜなら、我々は屈してしまったからだ。」

そして、彼はそれを公開しようとしています。そこで、皆さんに言うておきます

が、アッタトラーはアフマディネジャドのやっていることが気に入りません。彼は基本的に、汚れ物はすべて外に持ち出していますから。マフムード・アフマディネジャドが今後、数日から数週間、生きていられるかさ分かりません。彼は事故に遭うかもしれません。確信は出来ませんが、彼は今、脅威ですから。イランは、大打撃を受けています。昨日のニュース速報（6月2日）をご覧ください。左側の



イラン最大の軍用物資運搬船（左）と、それが大爆発している様子



テヘラン郊外の石油精製所の大爆発



知っています。事実、ある捜査官が今日言いました。「イスラエルが、昨日の船の沈没の背後にある。」あれは非常に驚異的でした。

〈トルコの動向〉

さて、「ゴメル」と「ベテ・トガルマ」と呼ばれる、エゼキエルのその部分に移りましょう。皆さん、これはこんにちのトルコです。こんにちのトルコは、皆さんはほとんど聞いていないかも知れませんが、彼らは非常に困難に陥っています。彼らは、シリアでうまくいっておらず、リビアでうまくいっておらず、イラク北部でもうま



アフマディネジャド元大統領

最大の海軍船、これは、彼らの最大の…ちなみにそれは、攻撃用の軍艦ではありません。それはどちらかということ、ある場所から他の場所へと物資を運ぶ船です。しかし、それにはヘリポートもあり、いくつかの大砲があり、そして非常に精巧なシステムがいくつかあります。さて、右側で、何かが大爆発を引き起こし、オマーン沖であの船は沈没し、消えてなくなりました。昨日、煙が立ち上り、イラン海軍の誇りが消えるのを国民は目撃しました。そして、今画面上に見えるもの、これは昨日、テヘラン郊外にある石油精製所の爆発です。ちなみに、私たちが今こうして話している間にも、燃え続けています。それから、一時間前に起きた、アル=アフワズでの出来事は、写真をアップロードする時間がなかったのですが、テレグラムで私をフォローしている方は、一時間前にテヘランで起こったことの動画をアップロードしてあるので、後でご覧ください。数日前、1950年代後半の古いジェット機F-5が墜落して、パイロット二人も死亡しました。イランはここ数日、数ヶ月、非常に多くの打撃を受け、困難を抱えています。そして彼らは、誰かがその背後にいることを

くっていません。それでも足りないなら、19%の利息で、彼らはまだ出血しています。この表をご覧ください。ドルに対する彼らの通貨の価値がどんどん下がっています。昨日の時点で、1米ドルあたり8.61トルコ・リラです。これは、彼らの通貨価値で史上最低です。エルドアンは戦争が必要です。それも、経済を復活させるために、緊急に戦争が必要です。信じられないかも知れませんが、戦争は経済を復活させます。物事を復元する必要があり、物を購入する必要があり、物事を販売する必要があつて、それを使用して戦利品を奪い、ものすごいことです。トルコは、誰にでもついて行く立場にあつて、イランは明らかに、起こっているすべてのことに復讐したいと考えています。ロシアは、あちらでさえ重爆撃機、超音速爆撃機を持ち込んでいます。



トルコ・リラの価値はどんどん下降中。

〈シリアの動向〉

そして、シリアでは何が起きているのか。ところで、私が今述べたすべての国にとっての共通項は、アル=アサドはまたしても再選されて、このサーカスの大失態…皆さん、この三枚の写真をご覧ください。選挙時の写真です。まず、真ん中の写真は、兵士が27回投票している様子です。彼は自分の親指を使って、たくさんの異なる投票用紙に拇印を押しています。それがカメラに収められているのです。次に、左側を見てください。彼らは血で投票します。この社会がどれほど病んでいるか、ご覧ください。彼女は、彼の胸を突き刺して、血を抜いているのです。それを使って、投票用紙に捺印するためです。右



側は、男性が自分の親指で血判を押す、そして…ところで、誰に投票したかを見せることは合法ですか？いいえ！しかし、彼はそれをやったのです。これは保険です。「私に悪くしないでください。私はアル=アサドに投票しました。」「皆さん、見てください！」あれは大失態、それは茶番劇で、彼は95%の票を獲得しました。あそこで投票した人たちは、アレでしたが…全くクレイジーです。

〈エゼキエル 38 章に近づいているといえる現状〉

皆さん、なぜそれがそんなに預言的なのか？それは、アル=アサドは、ロシアが滞在し、イランが留まり、トルコが今行っていることを続けるための保険だからです。ロシアは、アル=アサドが留まることを望んでいます。彼らは、彼に耐えられません。しかしロシアは、アル=アサドが権力を握り続ければ、彼らが今いる場所に留まることができるということを知っているのです。イランは、アル=アサドが大好きです。彼が、彼らが入ることを許可しますから。彼らは両方ともシーア派です。ですから、アル=アサドが再び、国土の70%を支配します。しかし彼は、国のエネルギー源に対しても、彼の軍隊に対しても、一切の権限を持っていません。ロシアは気づきました。

「見ろよ。アル=アサドは弱すぎる。我々は自分たちで、独自のシリア軍、第5旅団を始める。」
そしてそれは基本的に、一つはスンニ派、一つはシーア派、どちらもシリア人ですが、彼らは互いの根性を憎んでいます。しかし、ロシアはそれをしています。そのすべてが、イスラエルが政治的に弱く、道徳的に衰退しており、脆弱な状況にあることを告げています。ほら、私はある人に言いましたが、私が思うに、私たちは、民主主義国家イスラエルの存在の最後の段階に入っています。間違いありません。聖書的に、イスラエルは主権国家

であり続けることはできません。反キリストが都に入り、エルサレムから支配する時、ユダヤ人は荒野に逃げます。覚えておいてください。独立国家としてのイスラエルの終わりです。そして唯一、イエスが戻って来た時に、我々は戻って来ますが、その時でさえ、私たちは民主主義国家ではなく、神権主義国家です。神が、エルサレムから君臨します。だから、現在のイスラエルの民主主義国家としての地位、独自の軍隊、独自の政府を持ち、国会議事堂を持つ主権国家、すべてが有効期限付きです。そして私たちにはそれが必要でした。私たちには、現在の状態が必要だったのです。今、ユダヤ人を戻し、土地を取り戻し、エルサレムに入り、私たちの今の状態、ここに至るために。しかし、私たちは道徳的に崩壊していて、政治的に崩壊しています。そういう時、敵の攻撃が可能になります。

〈ふたつのゴグとマゴグ〉

ところで、聖書には二つの「ゴグとマゴグ」があって、多くの人が、それについて混乱しています。一つはエゼキエル書に出てきて、「マゴグの地のゴグ」として知られています（エゼキエル 38:2 参照）。そしてもう一つは、黙示録にも出てきます。それは「ゴグとマゴグ」について話しています。それは同じ戦争でしょうか？全く違います。そこで、この二つの間の、大きな違いを四つ示します。

①エゼキエル 38、39 章の戦いで、軍隊はおもに北から来て、地球上の、ほんの数ヶ国だけが関わります。ロシア、イラン、トルコ、リビア、スーダン。それだけです。しかし、黙示録 20 章の戦いでは、すべての国が関わります。ですから、軍隊は来たからだけではなく、全方向からやって来ます。

②エゼキエル 38、39 章の文脈では、サタンの言及はありません。しかし、黙示録 20 章 7 節では、はっきりと告げています。この戦いは、千年王国の終わりに起こり、サタンがおもな登場人物です。

③エゼキエル 39 章 11～12 節は、「7 ヶ月かかって彼ら（死人）を埋める」と告げています。しかし、黙示録に記載されている戦いでは、エゼキエル 38、39 章のように死者を埋葬する必要はありません。それは千年王国の終わりです。なぜでしょう？それで終わり、そこから永遠になるからです。なぜ、そんなに長期間葬る必要がありますか？だから、黙示録 20 章の後にはないのです。その時、私たちには大きな白い御座のさばきがあって、現在の天と地は、黙示録で滅び、新しい天、新しい地に置き換えられます（黙示録 21 章参照）。ですから、明らかに、死者を埋葬する必要があるのは、大患難の最中、もしくは、その直前の戦いだけです。イスラエルの土地が、さらに千年間、居住地となりますから。もちろん、千年王国の長さは、千年間です。だから、もしそれが同じ戦争であれば、その部分さえ辻褃が合いません。

④最後に、エゼキエル 38、39 章の戦いは、神が、イスラエルを取り戻すために、それを用いられるのに対し、…覚えていますか？勝利するのは、神です。黙示録 20 章では、イスラエルは既に千年間、神に従っています。覚えていますか？イエスが戻って来られると、イスラエルの全家が救われます。そして、イエスが君臨される時、ユダヤ人は従います。イスラエルのために、戦いに勝つ必要はありません。覚えておいてください。黙示録 20 章 7～10 節で、神に従わない者は、もはや悔い改めの機会なしに滅びます。だから、それは別の話です。これは神の民と非信者の戦いです。

ですから、私はこう言います。エゼキエルの「ゴグとマゴグの戦い」は、特定の国について語っています。そしてゴグは、マゴグの地、ロシュつまりロシア、メシエクとトバルの大首長です。それに対して、「ゴグとマゴグ」の霊は、千年王国の終わり、神の敵が、神の民に敵対して来る時です。もちろん、神は、それらを滅ぼされます。

そこで皆さん、思い出してください。イスラエルに関する限り、聖書はまず最初に、イスラエルの物理的な回復があると告げています。そして、イスラエルは物理的に回復されました。エゼキエル 37 章では、神が、国々からユダヤ人を連れ戻す、と告げています。彼らが埋葬されている場所、ヨーロッパから、彼らの墓地から、神が私たちを、私たち自身の土地へ連れ戻されます。エゼキエル書 37 章を、最後まで読んでください。

14 …主であるわたしがこれを語り、これを成し遂げた…

(エゼキエル書 37:14)

神はユダヤ人を、彼らの土地に戻されました。他人の土地ではありません。神が約束し、神が語り、神が実行されたのです。それが物理的な回復です。しかし、霊的な回復は最後に来ます。それは残念ながら、イスラエルが苦しんだ後でなければなりません。そして、私たちは今、国が霊的、道徳的に自滅していく時代の始まりを見えています。繰り返しますが、これからそれはどんどん悪化して行きます。エゼキエル書 36 章 24~25 節はこう告げています。

24 わたしはあなたがたを諸国の民の間から連れ出し、すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。

それが物理的なものです。そして、彼の言葉を見てください。「その時…」
あなたがたが自分たちの土地に住み、あなたがたが強く安全で、繁栄した後、…

25 わたしがきよい水をあなたがたの上に振りかけるそのとき、あなたがたはすべての汚れからきよめられる。わたしは、すべての偶像の汚れからあなたがたをきよめ、…

(エゼキエル書 36:24~25)

ゼカリヤ書 12 章は言います。

10 わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと哀願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、…

(ゼカリヤ書 12:10a)

見てください。主が霊的に彼らを回復されるのは、イエスが戻って来られるのを、彼らが見る時です。

彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。

(ゼカリヤ書 12:10b)

そこで皆さんに言いたいのは、一番目の（ゴグとマゴグの）時のあなたの居場所が、二番目の時のあなたの居場所を決定します。言い換えれば、高い確率で、非常に高い確率で、この戦いの前に、信者がここから脱出する可能性があります。私たちはここから出て行きます。この戦争はイスラエルのためであって、神がイスラエルに向き合うためですから。しかし、第二のゴグとマゴグでは、私たちは既に千年間、エルサレムに住んでいて、敵であるサタンと彼の手下が、私たちを攻撃し、滅ぼそうとします。あなたが一番目にいなければ、あなたは確実に二番目にいることになるでしょう。あなたが一番目にいれば、二番目にいる可能性があります。この表を見てください。

「異邦人の時代 vs. イスラエルの時代」
そして、携拳はその間です。エゼキエル 36 章に応じて、土地の復興、エゼキエル 37 章に応じて、イスラエルの残りの民の救済、イザヤ書 43 章に応じて、土地への帰還、周知のとおり、エルサレムがユダヤ人の手中に戻り、それから携拳があって、神はイスラエルに向き合



われます。ゴグとマゴグ、それに続いて反キリストの平和、大患難、ダニエルの70週目は、イスラエルの救済が目的です。最終的に、イスラエルの救済につながります。再臨の時のイスラエルの救い、ローマ人への手紙11章が告げている通り、イスラエルの全家が救われます。ですから、ご覧ください。この二つの間には、非常に明確な区別があります。その間に携挙です。そこで皆さんに言うておきますが、私たちは信者として、イスラエルの物理的な回復を目撃しました。しかし私たちは信者として、ここから出て行き、イスラエルの救済と、彼らの霊的な回復につながる大患難を見ることはありません。それを理解することは、非常に重要です。

そこで、皆さんにお尋ねします。あなたは、一番目のゴグとマゴグについて、ワクワクしていますか？それともあなたは、第二のゴグとマゴグについて、ワクワクしていますか？なぜ、私はこんなことを言っているのでしょうか？私たちは、一つ目に興奮する必要はありません。私たちはここにいないかもしれません。我々は、ロシア、イラン、トルコ、リビア、スーダンがイスラエルを攻撃することに、興奮しているわけではありません。私たちはここで、そのことを興奮しているわけではありません。私たちが興奮すべきもの、私たちが備えておくべきなのは、二番目の方です。私たちはイエスのみもとに取り去られ、イエスとともに戻って来て、千年にわたって主とともに統治し、そして、サタンと彼の手下に攻撃される信者になるべきです。そして、神がサタンを滅ぼし、火の海に彼を投げ込まれるのです。それで終わりです。

皆さん、理解してください。今、私たちが興奮すべきは、ここから出て行くことです。エゼキエルの前かもしれません。そして、私たちが興奮すべきことは、最終的に、ゴグとマゴグを経験することです。しかし、二番目の方です。私たちが神の民だから。私たちが選ばれた者だから。私たちが主の民だから。私たちが主とともに戻って来て、主とともに君臨し、支配するからです。そのすべてのために、私たちはそこで、サタン自身と、サタンが世界の四隅から集めた手下の攻撃の対象となるのです。

〈まとめ〉

今、落ち込み、希望を失うのはとても簡単です。ほら、私は1月から、アメリカの人たちの相談に乗り、慰めてきました。それが今、私のドアをノックしています。同じ進歩派の考え方、同じ「変化」の霊、同じ「自由」の霊、自分の国への愛以上に、神から与えられた指導者を憎む、同じ憎しみ、その同じ思考がここにあります。私の要塞は、これまでになく侵害されました。これまで以上に、今まで以上に…私たちが霊的なパスポート、天のパスポートを握りしめる必要があると言いたいのです。正直なところ、私は自分がイスラエル人だということを誇りに思いません。このような政府では、私は胸を張って自分の出身を言えません。私は、天国のパスポートを握りしめています。それは、私がそこに属していることを、本当に誇りに思っているためだけでなく、本当にもうすぐ、それにスタンプが押されるため、私はそれを握りしめているのです。皆さん、私たちが今見ているものは、道徳的衰退、霊的衰退、そして、政治的不安定…それから狂気、狂乱の霊です。私たちがそのすべてを見えています。アメリカ、ヨーロッパ、その他の場所で起こったすべての事が、今ここにあります。進歩派の思考の悪魔が上陸しました。その「変化」の悪魔が、ここに上陸しました。そして皆さん、私は、ここで落ち込みや希望のなさを撒き散らしているではありません。実際、私は皆さんに希望を与えているのです。良いですか？私たちの希望はここにはなく、あちら（上）です。しかし、皆さんにお伝えしたいのは、聖書的に、この世界の行方を見ると、イスラエルが経験しなければならないことを見て、驚かないでください。驚いてはいけません。私は驚いていません。私はその到来を見たくはありませんでした。しかし、それが来ることは知っていました。私はそれを経験したくなかったが、私はそれを来ることを知っていました。それを経験しなければならないことを、私は知っていました。そして今、皆さん全員を励ましたいと思います。この世の政治に、抛り頼んではいけません。この世の馬や戦車に抛り頼むと、あなたは失望するでしょう。アメリカを見てください。彼らが選挙制度を変えない限り、絶対の絶対が変わることはありません。イスラエルでも同じです。あの悪魔は、いったん強

豪を掴むと、絶対に手放しません。それは乗っ取り、それはすべての上にその腕を伸ばして、そして窒息させます。それが、私たちが今見ている悪魔の性質です。これが、私たちが今見ているものです。私たちはアメリカで、ヨーロッパでそれを見て来て、今イスラエルでそれを見ています。もちろん私は、物事を変えたいですよ。元の国、国家主義、愛国主義に戻りたいです。でも同様に、私は、道徳的、霊的な衰退があることが分かります。私はそれを見ています。キッパを被っている人が、自分たちの仲間を裏切り、自身の発言とは正反対のことを言い、行なって、彼は自身の政府で、ムスリム同胞団を支援し、交わることを許可しているのです。私に何が言えますか？

ショックを受けている人たちがいます。多くの正統派ユダヤ人、多くの保守的なユダヤ人、イスラエル人…私たちはショック状態で、言葉を失いました。しかし、彼らとは異なり、私は終わりを知っています。私は、この書の終わりを知っています。私は、誰が勝利するのか知っています。私は、私の贖い主が生きておられることを知っています。私はそれを知っています。イエスがトマスに言われたとき、

29 …「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」

(ヨハネ 20:29)

これまで私たちは、イスラエルの神からのすべてを見てきました。しかし今、私たちは見えていないものにしがみつかなければなりません。私たちは携拳を握りしめ、私たちは大なる白い御座を握りしめ、私たちは子羊の祝宴を握りしめなければなりません。私たちは主とともに戻って来て、千年間主とともに君臨し、支配することを握りしめなければなりません。

1 …もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

2 あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

(コロサイ 3:1~2)

これは、コロサイ人への手紙 3 章で、私たちはこれをしなければなりません。私たちは、そうすべきです。今、私はこれまで以上に、外に出て伝えようという気力に満たされています。なぜなら今、私たちに残された唯一のやるべきことは、それしかありませんから。私はこの世に希望を置いていません。ほら、ここで物事が良くなるとは思っていません。アメリカで事態が良くなるとは思いません。皆さんを落ち込ませるつもりはありませんが、私は聖書を見ているのです。私は、イエスご自身が説明された、終わりの時の世を見ています。落胆しないでください。ところで、事態が悪化するという事実は、あなたが良い行いを止めなければならぬ、という意味ではありません。反対です。主は、彼が戻って来られる時、私たちが御父の業に励んでいることを願っておられます。

6 …ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていきましょう。

(第一テサロニケ 5:6)

パウロは言いました。

8 今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。

(第二テモテ 4:8)

私たちは、主の現れを慕わなければなりません。私たちは、主の現れについて、考えなければなりません。私たちは、主が来られることを待ち望み、イエスが来られるのを楽しみにするのです。私たちは、主がいつでも来ら

れることを期待しなければなりません。私たちはそれについて祈り、そのために歌い、それを説く必要があります。見てください、ますます多くの動画が出現し、人々を混乱させようとしています。

「携拳はありません。」「千年王国はありません。」

「天国には、キリストの裁きの座（第二コリント 5:10 参照）はありません。」

「ほら、物事はいつものように過ぎていくよ。心配するな。」

これらはすべて…彼らはあなたのものを盗もうと…まずここで彼らは政府を盗み、そして彼らは、あなたが持っている唯一の希望を盗んで、あなたを完全に眠らせようとします。だからこそ、聖書は言うのです。

6 …ほかの人々のように眠っていないで…

(第一テサロニケ 5:6)

12 夜はふけて、昼が近づきました…

(ローマ 13:12)

聖書がそう言ったのです。

5 あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもたちです。私たちは、夜や暗やみの者ではありません。

(第一テサロニケ 5:5)

ですから、世界が進歩派の思考や、グローバル主義的な思考、リベラルな思考に向かっているとしても、あなたは行ってはいけません。あなたは暗やみの子どもではなく、昼の子どもでいてください。もし、あなたが尋ねるなら、「アミール、もし、もはや後戻りできず、もはや素晴らしい政府を持たないなら、なぜ良い行いをするのか？」なぜなら、それが私たちであって、それは主が、私たちに望んでおられることだからです。主が私たちを迎えに来られる時、私たちが、御父の業を行っていることを望んでおられます。私たちが眠っているところではなく、御父の仕事に励んでいることを。皆さんが、これを理解することは非常に重要です。ほら、私は悲しんでいますよ。私は泣いています。顔には出ませんが、皆さんがそれを見ることはありません。私の枕がそれを受け止めてくれます。しかし、私はまた、これまで以上に気力に満たされています。良い知らせを分かち合い、私たちが生きるこの終わりの時代に、私たちがキリストにある希望を伝えます。皆に伝えなければなりません。私たちが見ているすべてのことが、予告されていたのです。そして、我々はまた、誰が勝利するかを知っています。

〈終わりに〉

ということで、皆さん、元気を出してください。私たちは第一のゴグとマゴグに非常に近づいています。私たちは、それを見ることすらないかもしれません。私たちが焦点を当てるべきことは、二番目の方です。それが、私たちが参加すべきものです。私たちは、神の民として攻撃されるべきであって、ロシア、イラン、トルコ、スーダン、リビアに攻撃されるイスラエル市民ではありません。いいえ。私たちは、その前にここから出るので、だから、エゼキエルの戦争に興奮しないでください。その前に起こる携拳にワクワクしてください。それがポイントです。ポイントは、非常に多くのことが起こっているということです。私は、イエスの時代以来、他のどの時代よりも、この時期に生きていることを光栄に思います。イエスの時代以来、他のどの時期よりも、今、私たちの目の前で、もっと多くのことが起こっています。だから皆さん、どうか御言葉に留まってください。祈りにとどまり、一筋の光と希望になりましょう。そして苦しんだり、失望したりしないように。ほら、大変なのは分かります。しかし、この時こそ、聖霊が私たちの中で働かれるのです。

7 主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように。

- 8 その人は、水のほとりに植わった木のように、流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、いつまでも実をみのらせる。

(エレミヤ書 17:7~8)

なぜなら、あなたを養い育てるのは、他の何でもなく、聖霊ですから。

皆さん、テレグラムをダウンロードして、テレグラムで私をフォローしてください。毎日のニュース、物事は毎日ではなく、毎時間起こっています。その入手方法の動画をお見せします。私たちの本「Israel and the Church」 「The Day Approaching」 「The Last Hour」 (すべて英語) のご購入希望される方は、私たちのウェブサイト beholdisrael.org をご覧ください。では、アロンの祝福を祈って、終わりにしましょう。

ヴェイシエメレハー アドナイ イェヴァーレフハー
 וְיִשְׁמְרֶךָ יְהוָה יְבַרְכֶךָ
 ..(主が)あなたを守られますように 主が あなたを祝福し

24 主があなたを祝福し、
あなたを守られますように。

ヴィーフネッカー エーレーハー パーナーヴ アドナイ ヤーエール
 וַיְהַנֶּךָ אֱלֹהֶיךָ פָּנָיו יְהוָה יֵאָר
 ..(主が)あなたを恵まれますように あなたに(向けて) 御顔を 主が 照らし

25 主が御顔をあなたに照らし、
あなたを恵まれますように。

シャーローム レハー ヴェヤーセーム エーレーハー パーナーヴ アドナイ イッサー
 שְׁלוֹמִי לְךָ וַיְשִׂם אֱלֹהֶיךָ פָּנָיו יְהוָה יִשָּׂא
 平安を あなたに(主が)賜るよう あなたに(向けて) 御顔を 主が 上げて

26 主が御顔をあなたに向け、
あなたに平安を与えられますように。

(引用: 牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァーレフハー アドナイ ヴェイシエメレハー

(民数記 6:24~26)

ヤーエール アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー

イッサー アドナイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

平和の君から来る平和、平和の主であられる方が、今よりとこしえに、あなたに平安を与えてくださいます。ここでも、どこでも。場所や時間に制限されることはありません。私たちは、そういう方に仕えているのです。平和の主に感謝し、イエシュアの御名のもとにお祈りします。アーメン。

テレグラム取得方法を、動画でご確認ください。そして、フォローをよろしくお願いします。

I love you! God bless you! ガリラヤより、シャローム! さようなら。

(以下略)

2021年6月3日 初回公開

〈巻末解説〉日本語訳聖書で、「ロシュ (またはロシ)」と訳されているものは?


文語訳で「^{ひと}人の子よ^こロシ、メセクおよび^{きみ}トバルの君たる^ちマゴグの地^{おう}の王ゴグに^{なんじ}汝の^{かお}面を^{これ}むけ^い之に^{よげん}むかひて^い預言し、^い言ふべし^{しゅ}主エホバかく^い言ひたまふ^うロシ、メセク、トバルの君ゴグよ^{きみ}視よ^{われ}我なんぢを^{ばつ}罰せん」とある。(文語訳聖書 エゼキエル書 38章 2~3節)



← スマートフォンなどのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube で見られます。
《リンク先 : <https://youtu.be/b5PGFsfznnU> 》



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel
<https://beholdisrael.org>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル 
<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

